

2019 年 4 月 24 日

助成事業実施報告書

団体名 福島子ども支援・八王子

代表者・役職名 氏名 共同代表 近藤波美

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

2019 夏休みふくはち親子交流合宿

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

震災直後、八王子の有志で「子どもたちの未来と自然エネルギーを考える八王子市民講座」を開催し、その中で原発事故の被害により厳しい環境で暮らす福島の子供達や健康被害について悩む母親たちの状況を知り、保養活動を始めたいと当団体を設立しました。現在主要メンバー 12 名で八王子を中心とする地域の様々な活動団体や学生たち、市民が連携しながら活動を続けています

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

福島原発事故の影響に対して不安を持ちながら暮らす福島の親子に対し、子供達への自然遊びと保護者のリフレッシュの機会を提供し、またそうした方々に向けて何らかの支援をしたいと思う八王子など多摩地域の市民との交流を図ることを目的に活動してきました。これまで年 2 回計 12 回開催してきましたが、震災後 8 年を経て社会的な関心が薄まり支援も減少する中で、福島県内では被ばくや健康について話す場も少なくなりぜひ継続して欲しいという親たちの声が多く、また、除染が難しい自然環境の中で、小さな子供たちの自然遊びの機会が求められています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

2019 年

4 月 夏合宿企画案検討。

5 月 実施内容詳細及び募集要項決定。福島の保護者向けスタッフ募集。

6 月 福島で企画ミーティング&保養相談会開催。

案内郵送、HP や現地保養相談会等で参加者募集。ボランティア募集、

7 月上旬 スタッフシフト、食材手配、備品調達など準備作業を行う。

8 月 5 日～8 日 福島からバスで町田市立大地沢青少年センターにて合宿実施。

子どもたちには大地沢で外遊びを中心に、ボランティア有志によるミニライブや紙芝居など。保護者向けには学習会・交流会・ケアプログラム、手づくりなどのワークショップを開催。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

昨年に続き震災後生まれた子供達とその親御さんや、一時避難し福島に戻られた親子さんなど、幼児から小学生低学年の子供たちを中心に、新しい参加者の方が増えました。福島の復興も進み、日常生活が元に戻っているようですが、やはり近隣の自然の中で気軽に遊ぶことはままならない状況もある中で、自然の中で思い切り遊ぶことで、リフレッシュできたようです。また、参加者のお母さん同士や多摩地域の市民とつながりに加え、中高生や学生からシニアの方まで、合宿に参加する多世代のボランティアスタッフ同士の交流も広がり、様々な地域活動への参加や情報共有などつながりも生まれています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

毎年この合宿を楽しみにしているボランティアさんたちの想いは熱く、同時に参加者のお母さんたちは合宿をきっかけに SNS などでも緩やかなつながりが生まれています。ふくはちでのこのつながりは、多摩地域と福島をつなぐ大変貴重で温かいものであると改め感じており、今後も出来る限り継続していきたいと考えています。しかしコロナの影響など社会環境も不透明になってきた現在、今後はこれまでの合宿のスタイルの見直しも含めて、新たな交流の場づくりを模索していきたいと考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり





ありがとうございます！8年目の夏。

今年もたくさんの方々にお力添えをいただきました。
お1人おひとりのこころざしや応援があってこそ実現できている合宿です。
この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

お世話になった方々（順不同 敬称略）

- 【施設】 町田市立大池沢青少年センター アミダステーション(延立寺別院)
- 【ボランティア協力】 はちおうじ子ども食堂 創価大アカペラバンド 栄養士、調理師の皆さん
- 【大人のためのケア】 シナリーゆの有志(アロママッサージ) 原博子、愛子(足裏マッサージ)イトテルミー田中あき子支部(イトテルミー)
- 【プログラム協力】 相原冒険遊びの会(プレーパーク) 東京土建八王子支部(かき氷)
星つむぎの村・相原一晴(星空観察) ぴーちゃん(パネルシアター) こんべいとう(人形劇)
落語の会「粋々」・小澤良行(落語) 朗読・中田真由美(読み聞かせ・紙芝居)
奈良本洋二(泥団子作り) いまここカフェ(カフェコーナー)
縄井千乃、縄井琳、イングリッド・ハルドーイン(ウェルカムコンサート通訳)
- 【市内農家のみなさん】 中西忠一 中西真一 中西伸夫 NPO法人すずしろ22
- 【食材協力】 よつば給食株式会社 生活舎 生活クラブまち八王子北 生活クラブまち八王子南
(有)中野屋商店 (株)むつみ (株)アーバンファーム八王子
- 【広報協力】 ほよ〜ん相談会
- 【その他】 カンパをいただいた方、ボランティアをしていただいた方、カンパジャムを食べてくれた方々



毎年子どもたちと思い切りおそんでくれる創価大学のみなさん

Special
thanks!!



●シンガー:Yukariさん
福島県いわき市の地元のピアノパーで専属歌手として活躍。東日本大震災に被災し、小学生の娘2人と東京に自主避難初めての作詞作曲のオリジナルCD「マイライフ」を発表。日本国内のほかフランスにて、講演会、ライブで活躍されています。
Yukariさんの歌と活動はこちらから <http://www.yukari311.com/>



●ピアニスト:フィリップ・マルシャンさん
パリ生まれ。ジャズ、シャンソン、ミュージカル、舞台において、作曲、編曲、演出を手がける。フランスにて、講演会、ライブなどで幅広く活動されています。

ご寄付を募っています！ よろしく願いいたします。



合宿を続けるためには、福島と往復する大型バス代、宿泊施設使用料、食材費、保険料など、さまざまな経費がかかります。ボランティアスタッフは学生を除き、合宿中の食費も自己負担としながら、この合宿を支えています。また、参加する福島の親子さんにも経費の一部をご負担いただいています。放射能を気にせず安心して子どもは自然の中で外遊び、大人はリラックスして心身を癒しながら、野菜たっぷりデトックス料理を食べるひととき。今後も続けていけるよう、ぜひともご寄付をお願いいたします。

【カンパの振込先】郵便振替口座▷名義:福島こども支援・八王子／記号番号／00120-9-450633
◎他金融機関からお振込みの場合 ゆうちょ銀行▷当座預金0450633 店番019

ボランティアスタッフを募集しています！

年に1度の「ふくはち☆親子交流合宿」には、学生さんから高齢者までたくさんのボランティアが参加しています。元教員、栄養士、調理師、カウンセラー、介護ヘルパー、議員など。合宿中の食事づくりから子どもの保育、遊び相手、大人のケアプログラム提供、車の送迎など、お手伝いを募集しています。企画ミーティングや説明会もありますので、お気軽にご連絡ください。

福島こども支援・八王子



住 所 八王子市東町3-4アミダステーション気付
メール fuku8hachi@gmail.com 電話 080-3307-0427 (近藤)



検索してね♪ [fuku8](#)

福島こども支援・八王子

ふくはち



2019.夏 親子交流合宿 報告書

とき・2019年 8月5日(月)～8月8日(木)
場所・大地沢青少年センター
福島市、郡山市、須賀川市、いわき市51名
(参加者大人17名 子ども34名 計51名 ボランティア70名)

後援:町田市、八王子市、八王子市教育委員会、八王子市社会福祉協議会
*本事業は「2019年度生活協同組合パルシステム東京 震災復興支援・パル未来花基金」と「2019年度真如苑 多摩地域市民活動公募助成事業」の助成を受けて実施しています。

2019年(第13回目)も無事、合宿の開催をご報告できて、本当にうれしいです。ご協力くださったみなさま、ご参加くださった親子のみなさんも、改めてありがとうございました。

今年もたくさんの学生ボランティアが参加して、子どもたちと思いっきり外遊びをしてくれました。手足を濡らしながらキャッキャッと歓声を上げて沢ガニをとったり、ハンモックやターザンロープにつかまってスリルを味わったり…。ただそこで笑顔を見ているだけで、大人たちはほっこり和んでしまう、そんなひとときがありました。一緒にご飯を食べて、落語や人形劇を見たり、スイカやかき氷のおやつもあったね。ママたちはティータイムができたり、夜な夜な語り合ったりと、短いながらも色々な交流ができました。例年同様、団体の助成や個人のカンパを頂戴しましたこと、感謝でいっぱいです。誠にありがとうございました。

震災から8年を過ぎて、今年は台風や大雨の被害も相次ぎました。「原発」をめぐる訴訟、健康への影響、環境への危機感など、もちろん心配は止んでいません。来年の夏は東京でオリンピックがあり、ふくはち周辺でもさまざまな議論があります。人びとが生き延びることのできる未来を求めて、みなさまと共に考えていきたいと思います。

ふくはちの親子合宿は、ふくはちの親子交流合宿は、ボランティアとカンパ、食事自炊による、まさに手づくりの合宿です。放射能を気にせず安心して、子どもは自然の中で外遊び、大人はリラックスして過ごします。食事は、地元農家さんの協力により、新鮮な野菜たっぷりの体にやさしい献立を提供します。0歳からの保育サポートがありますから、赤ちゃん連れも歓迎です！



←スペシャルコンサートに使うろうそくに巻く紙を、染めるワークショップからはじまった今回のふくはち。こんなに素敵に染まりました♪

↓コンサートの飾り付けを準備する大学生のボランティアのみなさん。



スペシャル
すぎる
コンサート

福島出身の歌手のユカリさんとフランス人ピアニスト、フィリップ・マルシャンさんによるチャリティコンサートを開催。キャンドルの灯りで舞台をつくり、大人も子どもも、音楽を楽しみました。大きな七夕飾りもつくったよ!



おひさまキラキラ! 笑顔はピカピカ

全日、晴天に恵まれ、青空の下、自然の中で、
元気に走り回った4日間でした。



プレーパーク&
外遊び満喫

遊びだしたら、ノンストップ!
なんじゃさんのプレーパークあり、じゃぶじゃぶ水遊びあり、シャボン玉あり…。



大学生のお兄さんも、水。



お楽しみイベント

パネルシアター、人形劇、落語、ママにはアロマハンドマッサージほかりラックスプログラムなど屋内のイベントも。



落語



パネルシアター

くりみボタン
ワークショップ

かわいい布で、髪ゴムを作りました。
ラメをつけたり、ママも一緒に。



おやつは
かき氷

トッピングもいろいろ
みんな大喜び!!



ふくはちの
自慢のごはん

頼もしい栄養士・調理師さん、調理スタッフが腕をふるいます。栄養満点、体にやさしいメニューだよ。



くりとぐらの玉子焼き?!
こんな朝ご飯が食べられるふくはちごはんは最高!



ミートスパゲティー/かきたま汁/
〇〇〇〇〇



〇〇〇〇〇



ししじゅうし/〇〇〇〇〇〇/サラダ
〇〇〇〇〇〇/〇〇〇〇〇〇

星空の
観察♪

うわっ、見えた!
本格的な望遠鏡で月
や木星を観ましたよ。



パシャ!
集合写真



スケジュール

8/5(月)

15:30 大地沢着
オリエンテーション &
ウェルカムティータイム
夜 スペシャルコンサート
七夕の夕べ

8/6(火)

午前 プレーパーク&沢遊び
午後 かき氷をつくろう
落語&パネルシアター
WS/くるみボタンづくり
くるみボタンWS
〈ママ向け〉足裏マッサージ
夜 星の観察

8/7(水)

午前 じゃぶじゃぶ池で遊ぼう!
午後 スイカ割り
WS/泥団子を作ろう!
人形劇&紙芝居
〈ママ向け〉アロマハンド
マッサージ&テルミー

8/8(木)

9:00 帰り支度
11:00 福島へ向けて出発!